



## Minami-hatoba\_1(Shirouyasu\_Suzuki)

2006-04-30

小指値第4回公演『ツェラーシュバルツカッツ』を3度目、見に行く。

29日の朝、トイレで読んだ『言語の脳科学』には、言語の要素として統語論、意味論、音韻論の三つが挙げられていた。そしてそれから言語モジュール説が書かれていた。[庭のハルジオン](#)をBlosxomBlogに入れる。『極私的な多摩王の感傷』をDVDに焼いて、多摩美の先生方に記念に贈ろうと思って、昨日修正して書き出したテープからDVDに焼きはじめて3枚焼いたところで、最後のクレジットのスクロールに「2005年」と間違っていて入れているのに気がついた。そしてそれを修正する。ところが、Final Cut Proからの書き出しが、何とかテープ1本はできたものの、コマ落ちが続出して、出来なくなった。5時過ぎに家を出て、渋谷駅下の商店街で小指値に持っていくお菓子を買って、バス停の向かいにビルの地下の蓬莱亭でヒレカツ定食を食べて、ギャラリーLE DECOへ行く。小指値が『ツェラーシュバルツカッツ』の公演をやる4階へ。7時半の開場前に着いた。この公演は、2日と15日と今日で3度目。始まる前に映画評論家の大久保賢一さんと顔を合わせ、ちょっと話す。今回の上演は、2日とも15日とも違っていった。セリフが多くなり、人物たちの関係がわかりやすくなっていった。役者たちの工夫が面白い。時間という筋が見えてきた感じ。身体の動きに速い、遅い、静止が出てきて、言葉と絡み合う。帰りに、時間がキャラクターで登場してもいいのではないかと思った。英雄のいない神話世界という感じに向かうかとも思えた。役者たちのアクションが面白くて笑う場面が多かった。印象として大人らしくなって来た。帰りに、この前に麻理が買ったかったが買えなかったシュークリームを並んで買って帰る。帰宅してシュークリーム、牛乳。仕事場に下りて、メールを見ると、IFの澤さんからのメールで、音跳びの雑音があると知らせてくれる。電話して確かめると、カメラで撮った時に音跳びが起っていたところだった。それより、既に澤さんい手渡したテープにも「2005年4月」と入っているので、明日交換することにする。今年は映像制作でミスが多かった。林檎を食べてから、テープをコピーする。そしてようやく「灰皿町blog日記」を書く。

01:32:02 - shirouyasu - 2 comments

2006-04-29

『極私的な多摩王の感傷』の訂正完成版をIFに持って行く。

28日の朝、トイレで読んだ『言語の脳科学』には、「音韻の規則」ということが書いてあった。「真理子、聡子、俊子」などの「子」のつく名前ではアクセントが始めに来るが、そうでない場合は、後の方に来るということだった。ストレッチ体操、シャワー。[庭のオニタビラコの花](#)を撮って、仕事場に下りて、日録を書いてからBlosxomBlogに入れる。メールを開くと、「Internacional Independent Film Festival of Mar del Plata (Argentina)」から、コンペ参加の打診が来ていた。また、松山由維子さんにメールして、英訳して貰い、返事を作って貰って出す。それから、『極私的な多摩王の感傷』のカットの入れ替えを始める。「顔よ、勃ったら1m」の一場面を三つ挿入しているのだが、野上絹代さんのところに中林舞さんのカットを入れ間違えていたので、それを入れ替えた。昨日は、トランジションがうまく掛からなかったが、今日はすんなり行った。麻理と蕎麦で昼食。4時過ぎにテープを2本作ってIFに持って行った。青山学院大のところの歩道橋が改造されて信号になっていたの、表参道から青山通りの南側を歩いてIFへ行けるようになった。今日、歩いてみて、こちら側だとビルの中のエスカレーターで地上に出られることが分かった。IFで沢さんに新たなテープを渡して元のテープを返して貰って、宮益坂を下り、駅を通り過ぎ

### Navigation

[Previous 月](#)

[Next 月](#)

[Today](#)

[Archives](#)

[Admin Area](#)

### Categories

[All](#)

[General](#)

灰皿町の本

●[幻想小説『なめくじキーホルダー』](#) [清水鱗造](#)

●[「週刊読書人」詩時評一九九二-一九九三年](#) [清水鱗造批評集 第二分冊](#)

### Search

プロ・翻訳者レベルの  
AI自動翻訳

精度95%の  
AI

て、道玄坂の「TOP」に行ってお茶を飲んだ。この「TOP」に来たのは久しぶりだった。それから、「Book1st」に行ってお茶についての本を買って、東急本店でハムや蜂蜜などと、うなぎ弁当を買ってタクシーで帰宅。「顔よ、勃ったら1m」の一場面を数秒使った旨を天野君、中林さん、野上さん、北川さんへmixiのメッセージで知らせる。うなぎ弁当で夕食。夕刊を読んで仕事場へ。『極私的な多摩王の感傷』のWeb用の画像を作って、blogとわたしのHPに入れる。それから、自分の『極私的な多摩王の感傷』のテープを作ろうと書き出したら、途中で止まってしまって、数回やり直しても、うまく行かない。買ってきたDVDについての本を読む。そして「灰皿町blog日記」を書く。その後、居間に行って、林檎、煎餅を食べ、牛乳を飲むつもり。それから、暫くして寝ることになるでしょう。

00:01:04 - shirouyasu - No comments

2006-04-28

『極私的な多摩王の感傷』の上映



『極私的な多摩王の感傷』の上映。

ようやくできました。連休中ですが、時間に余裕のある方は見に来てください。16年間の多摩美の教員生活を振り返った作品です。

場所：新宿パークタワーホール

時間：5月2日（火）12：00 プログラムC日本3

5月3日（水）14：30 プログラムC日本3

21:28:17 - shirouyasu - No comments

「ドキュメンタリー映画論」の3回目の授業。

27日の朝、トイレで読んだ『言語の脳科学』には、言語の最小要素としての「音素」と、その集まりの「形態素」のことが書いてあった。[咲き始めた君子蘭](#)を撮って、仕事場を下りて、日録を書いてから、BlosxomBlogに入れる。昨夜会った北沢からメールが来ていたので返事。『極私的な多摩王の感傷』の気になっているところはやはり変えなくてはならないことが判った。で、ちょっと試みたが、トランジットがうまく行かない。昼食にインスタント梅がゆと竹の子の煮付けを食べる。今日の「ドキュメンタリー映画論」では、戦後の社会の変遷とそれに合わせてドキュメンタリー映画の作品の流れを話すことにして、その資料を自分の著書の『映画素志』からコピーして作る。結構時間が掛かる。4時過ぎに家を出て、地下鉄で二子玉乗り換えで上野毛下車。「さくら庵」でさじやき重。映像演劇学科の講師控え室へ。授業の資料のコピーを副手の人に頼む。石田さんが来て、この前にあげた『眺め斜め』の導入部を褒めてくれる。6時から、「ドキュメンタリー映画論」の授業。喋りすぎて休み時間に入ってしまう。控え室に戻って、助手の木村さんに

Login

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

Powered by





FinalCutのトランジションのことを聞く。そこに2年生の大谷君と隠岐さんが写真を持ってきたので、それを見て話をする。9時半頃、大高さんと古賀さんが来て、一緒にナセヤに行く。後から石田さんと何人かのゼミの学生が来て。ビールその他でいろいろと話す。そこでも、石田さんが『眺め斜め』の音楽の使い方を褒めてくれたのが嬉しかった。タクシーで石田さんを井の頭通りに曲がったところまで送って帰宅。林檎半分、甘納豆、ビスケット、牛乳。夕刊。仕事場に下りて、「灰皿町blog日記」を書く

01:54:55 - shirouyasu - No comments

## 2006-04-27

高校時代の二人の旧友に会って、浅草で会食する。

26日の朝、トイレで読んだ『言語の脳科学』には、「認知言語学」に対して、言語を科学的に探求するものではないという批判が書いてあった。ストレッチ体操、シャワー。庭の隅に幾つか咲いていたカタバミの花を撮って、日録を書いてから、BlosxomBlogに入れる。竹の子を厚揚げと煮る。『極私的な多摩王の感傷』の音のレベルを調整する。麻理と蕎麦で昼食。その後、直ぐに仕事場に下りて、『極私的な多摩王の感傷』を最終的にテープに書き出す。イメージフォーラムに持っていくために2本作る。ラベルを印刷する。4時廻って家を出て地下鉄で表参道で下りてイメージフォーラムに行く。テープを池田さんに渡して、ちょっと会話して、澁谷駅前前のビッグカメラでminiDVテープを買って、銀座線に乗って終点の浅草へ行く。浅草へ行くのは久しぶり。改札を出たところに、高校時代の旧友の桜井栄治君と北沢実君が待っていてくれた。桜井君とは数年ぶり、北沢君とは何十年ぶり。桜井君の案内で新仲店近くの古道具を沢山置いた和食の店に行き、ビールと焼酎で、それなりの和食のコースで料理を食べて、いろいろと高校時代のこと、その後のこと、現在の生活について話をした。二人とももう定年で引退していると言っていた。10時廻って散会。地下鉄の入り口で桜井君と別れ、地下鉄の上野駅で川口に帰る北沢君と別れて、表参道乗り換えで帰宅した。林檎、薩摩芋、きんつば、牛乳。夕刊。仕事場に下りて、気になるところがあって、『極私的な多摩王の感傷』のカットをちょっと確かめる。それから、「灰皿町blog日記」を書く。

01:26:34 - shirouyasu - No comments

## 2006-04-26

『極私的な多摩王の感傷』を一応完成させる。

25日の朝、トイレで読んだ『言語の脳科学』には、「意味論」のことが書いてあった。「カテゴリー」「外延」「内包」などという言葉が使われていた。日録ノートして、レースラベンダーの花をBlosxomBlogに入れる。それから、雷が鳴り驟雨となった庭をDVで撮る。『極私的な多摩王の感傷』のナレーションを居間のテーブルで取り始める。小型デッキの画像に合わせながらマイクに向かって喋り、DATデンスケで録音。2時頃、麻理が買ってきたかき揚げで天ぷら蕎麦を作って昼食。ナレーションの録音を続ける。6時頃全部録音し終わって、PowerBookG4のSond itで取り込み、FinalCutのタイムラインに並べてみると、音が割れている。そこで、全部取り直しということにする。ちょっとパニクル。丁度帰ってきた麻理に夕食の支度を頼んで、録音の準備する。夕食後、直ちに録音を始めた。さっきやってナレーションは出来ていたもので、1時間ぐらいで26項目を全部取れる。それから、取り込んで、FinalCutのタイムラインに並べながら、音の調整をする。12時頃終わって、居間に行き林檎、薩摩芋、きんつば、牛乳。仕事場に下りて、テープに書き出して見る。ちょっと調整が必要だが、一応完成した。それから、メールを見て、「灰皿町blog日記」を書く。

01:21:03 - shirouyasu - 2 comments

**2006-04-25**

『極私的な多摩王の感傷』のナレーションを考える。

24日の朝、トイレで読んだ『言語の脳科学』には、言語の要素として「文法」と「意味」ということが書かれていた。文法はあるか間違っているかの二者選一だが、意味にはグラデーションがあるということだ。ストレッチ体操、風呂に入る。庭のオニタビラコの花を撮る。名前を図鑑で調べる。仕事場に下りて、日録ノート。オニタビラコをBlosxomBlogに入れる。かき揚げで天ぷら蕎麦を作って昼食。BSでやっていた中村錦之介の織田信長の昔の映画の途中を見て、30分ぐらい見してしまう。昨日封筒に入れたIFFの案内状を持って郵便局に行き出す。有村堂でコンドロイチンとブルーベリーのサプリメントを買い、パルケで竹の子、大根、林檎、ハム、あぶらげなどを買う。帰り、別の薬局でビタミンCの錠剤を買って帰る。大根と馬鈴薯とあぶらげを煮る。それから、眠くなってちょっと仮眠。夕刊。仕事場に下りて、mixiを見てコメントを書いたりする。『極私的な多摩王の感傷』のテープを再生して、ナレーションを入れるところを決めて、ナレーションの素案を考える。それから、スーパーを足して入れる。帰ってきた麻理が夕食を用意して、7時すぎに肉野菜炒めと大根と馬鈴薯の煮付けとみそ汁とその他で夕食。食後、仮眠。9時過ぎに仕事場に下りて、足したり修正したスーパー付きでテープに書き出す。それ合わせてナレーションを決めていく。11時過ぎに一応終わって居間に行き林檎、薩摩芋、一口羊羹、牛乳。また、仕事場に下りて、「灰皿町blog日記」を書く

00:47:33 - shirouyasu - No comments

**2006-04-24**

「IFF2006」のチラシを送るための案内状と住所のプリント。

23日の朝、トイレで読んだ『言語の脳科学』には、行動主義の批判を通して言語獲得の生得説が書かれていた。チョムスキーは「言語器官」があると考えていたという。赤ちゃんが数年で「文法」を憶えてしまうという能力を持っていることなどを指摘して生得説が優位なことが書かれていた。ストレッチ体操、シャワー。ナスタチウムの枯れた花を撮る。仕事場に下りて、昨日友人にあげた『「個人映画」の映像表現』を読み返してから、日録ノート。ナスタチウムの枯れた花をBlosxomBlogに入れる。出掛ける前に麻理が買ってきたかき揚げで天ぷら蕎麦を作り昼食。『極私的な多摩王の感傷』に思い付いたスーパーを入れる。それから、案内状に名前を差し込み印刷で入れる。住所をタックシールで印刷する。差し込み印刷やタックシールの印刷の仕方を忘れていて、思い出し思い出しやっっていくので時間が掛かる。5時頃、南瓜を煮る。ついでにワカメと豆腐のみそ汁も作る。案内状とチラシと抜き刷りを封筒に入れ終わったら、7時過ぎていて、ウルメイワシを焼いて、南瓜のみそ汁で夕食。寝室に行きベッドに横になって「功名が辻」を見る。続いて道路公団民営化後のドキュメント番組を見て、更にスポーツニュースのプロ野球の結果まで見る。封筒の封をテープで貼る。mixiを見てコメントにコメントをつける。居間に行き、林檎、薩摩芋、一口羊羹、ゆべし、煎餅をそれぞれ一口ずつ、牛乳。帰ってきた麻理から話を聞く。また仕事場に下りて、「灰皿町blog日記」を書く。

01:20:34 - shirouyasu - No comments

**2006-04-23**

大学時代に親しかった友人たちと会食する。

22日の朝、トイレで読んだ『言語の脳科学』には、生物学者たちは類人猿から人間への進化について、言語を獲得したことで飛躍的な進化あることを認めないが、その連続性を主張する学説を否定して、そこには絶対的な違いがあることを探求す

ることがかいてあった。ストレッチ体操、シャワー。咲き残った山吹の花を撮る。仕事場に下りて、日録をノートして、夜に会う友人たちに記念に渡そうと、『極私的に遂に古稀』をDVDにダビングする。その間に、「イメージフォーラム・フェスティバル2006」のチラシを送るための住所のタックシールをプリントする。きつね蕎麦を作って昼食。3枚のDVDのダビングを終えて、[山吹の花](#)をBlosxomBlogに入れる。20分ほど仮眠。5時過ぎに家を出て、千代田線で湯島下車。そこから御徒町の「八幡屋」へ歩く。6時丁度に着いたら、高野民雄さんが来ていた。それから戸田桂太さん、松尾忠二さんが来た。早稲田大学の学生時代にフランス文学研究会でブルトンの「ナジャ」を原文で輪読したという仲間たちだ。現在、戸田さんの奥さんになっている紀子さんが、当時はコピー機というものが無かったので、カーボンの複写紙を挟んで薄い紙にタイプして、それを喫茶店で集まって読んだのだったと高野さんが思い出した。今夜は、わたしが定年退職したのを切っ掛けに集まって、しゃぶしゃぶとふぐちりで会食した。話題は大体がそれぞれの生活の様子と学生時代の記憶を辿っての話だった。それぞれの生きている姿が見えて、劇画の世界にいるようで愉快だった。その後、コーヒー店に行き、別れがたい気持ちを抱いて11時過ぎに散会した。わたしは千代田線で、国会議事堂前まで戸田さんと一緒に、帰宅した。林檎、薩摩芋、煎餅、牛乳。夕刊。仕事場に下りて、「灰皿町blog日記」を書く。

01:13:44 - shirouyasu - No comments

## 2006-04-22

『極私的な多摩王の感傷』のサウンド編集を終える。

21日の朝、トイレで読んだ『言語の脳科学』には、類人猿は言語を持っていないとはっきり書いてあった。シンボルとその連想の記憶は持つが、文法を習得できないから言語は持ってないというのだ。ストレッチ体操、シャワー。スズランの花を撮って仕事場に下りる。「マーガレット・ミード映画祭」のエントリーについての松山由維子さんからのメールで、エントリーについて手伝ってくれというので、ほっとした。映画祭への返事の例文を書いてくれたので、エントリーする旨の返事を映画祭のスタッフに送った。沖縄の詩誌「あすら」に載っていた野村君の詩を読んで感想をmixiで送る。[スズランの花](#)をBlosxomBlogに入れてから、きつね蕎麦を作って昼食。仮眠。それから、見木久ヲ君が作ってくれた『極私的な多摩王の感傷』のサウンドを一つずつ聴いて、当てはめるシーンを決める。それが出来て、夕方、作品をデッキで再生して、QTプレイヤーで開いた曲を、7つほど、Macの画面上に並べて、モニターに再生されたシーンに合わせて次々に演奏して合わせてみる。これは音付けの新しい方法だ。麻理が帰ってきて、アジの干物とみそ汁で夕食。仮眠。8時半頃仕事場に下りて、音のレベルの細かい調整をして、サウンド編集を一応終わって、サウンド付きの全編をテープに出力する。居間に行き、林檎、薩摩芋、煎餅、牛乳。麻理の話を書く。仕事場に下りて、「灰皿町blog日記」を書く。

00:53:11 - shirouyasu - No comments

## 2006-04-21

映像演劇学科「ドキュメンタリー映画論」の講義2回目。

20日の朝、トイレで読んだ『言語の脳科学』には、言語の定義が書いてあった。「言語とは、心の一部として人間に備わった生得的な能力であって、文法規則の一定の順序に従って言語要素（音声、手話、文字など）を並べることで意味を表現し伝達できるシステムである」というのだ。ストレッチ体操、シャワー。ナスタチウムの黄色い花を撮って、仕事場に下りて日録を3日分書く。『極私的な多摩王の感傷』の各シーンの時間を表に書き入れる。麻理とカレーで遅い昼食。30分仮眠。仕事場に下りて、スーパーを入れ直したのをテープに書き出す。4時過ぎて家を出

て多摩美へ。田園都市線で澁谷でわたしの斜め前の席が空いて、その前の子供連れの若い母親が座ろうとした子供を制してわたしに席を譲ってくれる。子供が母親に「何で子供は座ってはいけないの」と質問すると、母は「子供は元気だから」と答えた。二子玉で下りるとき、わたしは子供に飴を二個あげて、ありがとうといって席を立った。上野毛下車、さくら庵でざる蕎麦。多摩美の映像演劇学科の講師控え室へ。石田尚志さんとちょっと話す。6時から「ドキュメンタリー映画論」。昨日録画したテレビニュースの「デカラーメン」を見せて、そのニュース映像の成り立ちを話す。7時半前に終わって、控え室に戻り、大日方さんとちょっと会話。8時半頃過ぎまで、そこで雑誌を見て過ごす。石田さんのゼミに出ていた大高さんと古賀さんが来て、一緒に「ナセヤ」へ行き、石田さんから聞いたという現代音楽の話を聞く。それから、授業を終えた石田さんとゼミに出ていた人たちが来て、いろいろな話しをする。皆さん、今日は卒制の企画締め切りとか。1年生の時の彼ら彼女らを知っているわたしとしては感慨深い。11時半頃解散。石田さんと途中まで一緒にタクシーで帰宅。林檎、薩摩芋、一口羊羹、煎餅、牛乳。夕刊。仕事場に下りて、メールを見たら、「the Margaret Mead Film and Video Festival」というところからメールが来ていた。内容が分からないので、早速、国際的な石田さんに相談のメールを出す。mixiを見て、「小指値」の公演が満員で予約打ち切り、というのを知って喜ぶ。それから、ナスタチウムの黄色い花をBlosxomBlogに入れてなかったのに気がつく。「灰皿町blog日記」を書き、[黄色い花](#)を入れる。

02:15:07 - shirouyasu - 2 comments

## 2006-04-20

『極私的な多摩王の感傷』の編集、スーパーを入れる。

19日の朝、トイレで読んだ『言語の脳科学』には、自然言語と人工言語のことが書いてあり、言語が自然だから科学の対象になるということだった。ストレッチ体操、シャワー。自転車で銀行に行って、「日本映像学会」の会費を自動振り込みにし、家計費とわたしが使う分の現金を降ろす。年金生活者としての始まり。銀行に行く途中で、その「日本映像学会」の理事選挙の投票用紙と「日本文芸家協会」の理事選挙の投票用紙を投函した。投票するのは今回が初めてだ。帰りに、パルケで海老の天ぷらを買って帰る。花屋の前で、[昨日買った花](#)の名前を見たら、「ナスチャーム」と書かれていた。帰ってから、BlosxomBlogにその名前を入れてたら、後で、灰皿町のpecoさんから「ナスタチウム」というのが正式の名前だとコメントで指摘された。食べられるということなので、夕食の時、麻理が葉を掴んでサラダに入れて食べてみたら、芥子菜のような味で結構美味しかった。昼食は麻理と海老の天ぷら蕎麦。その後、ちょっと仮眠して、『極私的な多摩王の感傷』の編集。クレジットタイトルを付けたり、何カ所かの場面にスーパーを入れたりした。夕食は、カレーとナスタチウムの葉の入ったサラダ。食後、ちょっと仮眠。巨人対ヤクルト戦の中継の最後のところを見て仕事場に下りて、足りないスーパーを入れて、見木久ヲ君が作ってくれたサウンドを聴き、印象をノートして、使うシーンを考える。それから各シーンの時間の表を作る。1時廻って、台所で昼間買ってきたソラ豆を茹で、居間に行き、林檎、薩摩芋、一口羊羹、煎餅、牛乳。茹で上がったソラ豆を幾つか口にする。それから、仕事場に下りて、「灰皿町blog日記」を書く。

01:34:40 - shirouyasu - 1 comment

## 2006-04-19

カレーを作って、『極私的な多摩王の感傷』を編集する。

18日の朝、トイレで読んだ『言語の脳科学』には、生成文法を考えたチョムスキーによって、言語を科学の対象にすることが始まったと書いてあった。自転車で小林医院に行って診察して貰って、血圧降下剤などの処方箋を貰い、慶応堂薬局に処方頼んで文教堂に行ってパソコン雑誌を見たが買うものはなかった。web技術

が一段と進んだという印象。薬を買ってから、パルケでカレーの食材とかき揚げを買った。帰って、花屋で名前を見て来た [Nastachiumの花](#)をBlosxomBlogに入れる。かき揚げで天ぷら蕎麦を作って昼食。仮眠。それから、馬鈴薯、玉葱、肉の他に、ハス、茄子、グリーンピースを入れたカレーを作り、ご飯を炊く。一応出来てから、夕刊を読み、仕事場を下りて、mixiを見てから、『極私的な多摩王の感傷』の編集に掛かる。7時過ぎにトマトを切って、カレーで夕食。仮眠。仕事場を下りて、編集を続けて1時頃一応出来た。テープに書き出してみたら、ワンカット抜けていた。居間に行って林檎、薩摩芋、牛乳。また仕事場に戻って、「灰皿町blog日記」を書く。

01:39:51 - shirouyasu - 2 comments

## 2006-04-18

### 竹の子を煮る

17日の朝、トイレで読んだ『言語の脳科学』には、意識と知覚と記憶の三角形の図式の真ん中に心があって、それぞれと再帰的に連携してしていると、また言語は独立した心の一部だとも書かれていた。ストレッチ体操をして、風呂に入る。庭に咲いてカタバミ黄色い花を撮って仕事場を下りて、日録をノートする。mixiを見て、蕎麦で昼食。ちょっと仮眠。昨日買ってきた竹の子を似る。竹の子って皮を剥くと本当に小さくなってしまふ。それから、自転車で郵便局に行って4人の人に「映像演劇」を送る。帰りに色紙と鉢植えの花を買ってくる。花屋に花の名前を聞くのを忘れた。帰って、[朝撮ったカタバミの花](#)をBlosxomBlogに入れる。『極私的な多摩王の感傷』の編集して、5時半頃散歩に出る。小田急の高架の下のトンネルを潜って、大山から西原へ回って、代々木上原駅前の「smiles」でコーヒーを飲んで帰る。またちょっと編集。7時過ぎに竹の子、昨日の茄子の煮付けとみそ汁で、麻理と夕食。仮眠。仕事場を下りて、高校時代の友人の桜井君からメールの返事が来て、北沢君とも一緒に会う場所を浅草にして日にちが決まる。『極私的な多摩王の感傷』の編集。11時廻って、林檎、けんぴ、一口羊羹、煎餅、牛乳。それから、煮物の残りを麻理が片づけたので、わたしは鍋を洗う。そして、また仕事場に戻り、「灰皿町blog日記」を書く。

00:49:36 - shirouyasu - No comments

## 2006-04-17

『極私的な多摩王の感傷』の最終編集に取りかかる。

16日の朝、トイレで読んだ『言語の脳科学』には、頭の中での言語の働きを研究することが困難である理由が三つあると書かれていた。一つは言語が脳の働きの最も高次な機能であり、ブラックボックスだということ、また言語が人間だけに独自のものであること、そして言語の働きと他の認知能力との境がはっきりしないことがあげられていた。この本は、言語に文法というものがある謎を追究するということだ。君子蘭のつぼみを撮って仕事場を下りて、3日分の日録をノートして、mixiのコメントに書き込みをしてくれた「小指値」の人たちひとりひとりに感想を書いたら、直ぐに昼食の時間になった。麻理と蕎麦で昼食。話題は「小指値」のことだった。夜まで昨日見た「小指値」の上演場面が頭から離れなかった。午後、自転車でパルケに行き、茄子と挽肉とグリーンピースと林檎と卵を買ってきて、茄子とグリーンピースと挽肉を煮る。美味しく煮えたので、わたしに出来る献立が一つ増えた。イチゴを食べて、[「b2evoluion」](#)のblogに「映像演劇」に書いた「表現の現前性」を入れる。夕方、麻理はインプロに行く。夜帰ってきて、インプロで「小指値」の話をしたら知っている人がいたというので、「小指値」もマニアの間では知られるようになったようだ。茄子の煮付けにみそ汁を作って夕食。食後、寝室に行ってベッドに横になって「功名が辻」を見る。仕事場を下りて、忘れていた[君子蘭のつぼみ](#)をBlosxomBlogに入れる。それから『極私的な多摩王の感傷』の編集に掛かる。

最初のところを編集して、スチルを取り込むところで変な具合になって、再起動でやり直しとなる。12時過ぎて、居間に行って林檎、きんつば半分、薩摩芋一切れ、牛乳。また仕事場に下りて、「灰皿町blog日記」を書く。

01:08:54 - shirouyasu - No comments

## 2006-04-16

「表現の現前性」を**b2evolution blog**の「南波止場1番地」に載せる。

「表現の現前性」はわたしの「退職記念映像展」で配布された映像演劇学科年報「映像演劇」に掲載された論文で、

[「b2evoluion南波止場1番地」](#)と

[My Online Scrapbook「南波止場1番地」](#)に

改めて掲載しました。

15:20:36 - shirouyasu - No comments

小指値第4回公演『ツェラーシュバルツカッツ』の3回目を見る。

15日の朝は、新たに酒井邦嘉著『言語の脳科学』を読み始め、「はじめに」のところを読む。この本は昨日まで読んでいた山梨正明著『認知言語学原理』が批判していたチョムスキーの言語生得説の立場から人間の言語能力を脳の科学として探求しているということだ。ストレッチ体操、シャワー。[庭のヒメジオンの花](#)を撮って、BlosxomBlogに入れる。かき揚げで天ぷら蕎麦を作って昼食。ちょっと仮眠。仕事場に下りて、清水鱗造さんが「haizara.net」に導入した[「b2evoluion」](#)というBlogのテストをしてみる。それから「藤井貞和人と作品」の原稿の続きを書いて、5時半頃書き上げる。居間に行ってお茶を飲んでから、原稿をプリントして確かめて、日本現代詩人会の葵生川さんに送った。6時頃家を出て、地下鉄で澁谷に出て、ビッグカメラでプリンタのインキとDVD-Rのディスクを買い、蓬萊亭でヒレカツを食べて、「小指値」の公演があるGallery LE DECOへ行く。エレベーターを下りたら、一緒に見るようになっていた麻理は、時間を間違えて早く来すぎたと云って階段にいた。「ツェラーシュバルツカッツ」の、中野のサイ・スタジオから変わって、LE DECOでの2回目の公演。今度は会場に備え付けのパイプの骨組みがあり、客席も鍵の手に折れているので、公演の様子が4月1日に見た初回のサイ・スタジオの公演とは全く違っていた。芝居の内容も、それぞれの役者のキャラクター作りもはっきりしてきて、見応えがあった。初回では、裸の山崎皓司君と小学生の野上絹代さんが目立っていたが、今回は蠅の中林舞さんも動きが大きく、可愛さとふてぶてしさが相まって可笑しかった。最後にパンツ販売人の篠田千明さんと全裸で石を演じている大道寺梨乃さんの間かせるための長いセリフがあるが、これがイマイチ乗ってこなかった。鳩の天野史朗さんの暴力と雌猫の辻村優子さんの媚びは物足りなかった。一番最後の全員の荒々しい呼吸は凄くよかった。全体で、身体の実在感は圧倒的で、かなり笑いを誘い出していたが、わたしとしてはやっぱりじーンと泣けてくるところが欲しい。麻理を誘って、感想を聞いたら「いいものを見た」といって、帰りのエレベータの中でずっと山崎君の最初のシーンの顔の真似をしていた。地下鉄で帰宅。林檎、柏餅、薩摩芋、牛乳。草多が見ているDVDの画面をちょっと見てから、仕事場に下りて、藤井さんに原稿のコピーをメールしてから、「灰皿町blog日記」を書く。

01:09:43 - shirouyasu - No comments

## 2006-04-15

グループ展「壁に一閃。」を見に行く。

14日の朝、「認知言語学原理」をトイレで読み終えた。最後に身体性に根ざした認知言語学の展望が書いてあった。それは認知科学の一つの場として展開していくということ。ハルジオンの花を撮って、ハルジオンとヒメジオンの違いを本で調べたがよく判らなかつた。仕事場に下りて、メールの返事を書く。残りのカレーを使ったカレー蕎麦で麻理と昼食。ちょっと仮眠。藤井さんの詩についてちょっと書く。『日没の印象』をDVDにダビングしてみる。続けて『15日間』のダビングを始めたが、グループ展「壁に一閃。」の竹田靖君のダンス実演に間に合うぎりぎりの時間になり、4時過ぎにダビングを仕掛けたまま、家を出て駅まで自転車で行って、地下鉄で澁谷に出て東横線で自由が丘で下車。10分ばかり歩いて4時50分に会場の「大塚文庫」に着く。邸宅と画廊が貸し会場になっている。映像演劇学科4年の竹田君のダンス「ドンク」は、床までガラスの、大きな窓のある広間で行われた。10分ほどの軽く可愛いダンスだった。その後、広間の上にある小部屋に梯子で登って、そこに飾られた小谷野真有さんの写真を見て、地下のギャラリーに下りて、壁に映写された長友幸子さんの8ミリと大塚育子さんの映像と福島千尋さんの形象アニメを見て、広間の戻り、抹茶と最中でみんなとちょっと話をした。6時頃そこをでて自由が丘駅から澁谷に戻り、FoodShowで紅茶と柏餅を買って、松川で鰻重を食べて、地下鉄で帰宅。小夏柑を食べて夕刊を見る。仕事場に下りて、ダビングが終わっていた『15日間』のDVDをファイナライズして、neoneo座の上映会のチラシの校正して、訂正部分を担当の泉さんにメール、石田尚志さんにもメールした。藤井さんの詩について思い付いたことを書き、居間にいってスポーツニュースを見ながら林檎、柏餅、薩摩芋、牛乳。そして仕事場に下りて、[ハルジオンの花](#)をBlosxomBlogに入れる。それから「灰皿町blog日記」を書く。

00:51:34 - shirouyasu - No comments

## 2006-04-14

映像演劇学科「ドキュメンタリー映画論」の最初の講義。

13日の朝、トイレで読んだ「認知言語学原理」には、認知科学の発展段階を三つに分けて、認知言語学はその第二期と第三期に位置付けられると書いてあった。ストレッチ体操、シャワー。日録を6日分書く。[欄の花](#)をBlosxomBlogに入れる。麻理と蕎麦の昼食。仮眠。仕事場に下りて、藤井さんの詩集をちょっと読み、今日の「ドキュメンタリー映画論」の話す内容を考える。3時半頃家を出て、澁谷の「さくらや」で、麻理のソニーのDVカメラの壊れたワイドコンヴァージョンレンズの代わりを買おうとしたが売ってなかつた。プリンターのインキを買う。それからビッグカメラへ行って、ワイドレンズを求めたら、店員がカタログなど調べてくれて、もう生産されていないということだった。で、ソニー製ではないのを買った。田園都市線で二子玉乗り換えで上野毛へ。さくら庵で親子丼を食べて、多摩美上野毛キャンパスへ行く。非常勤講師控え室で、大日方さんと話したりして、6時に3時限目が始まり教室へ。映像というものの社会システムとイメージの意味の生成の話をする。7時半前に控え室に戻って、石田尚志さんと4時限目が終わったら飲み行こうと約束。新2年生の田中 瑛さんが1年生の時の最後の発表会の折りに、各班の制作日誌を纏めた分厚いファイルを持ってきたので、それを見る。見応えがあるものに纏まっていた。9時過ぎに4時限目が終わって、石田さんとナセヤへ行く。新4年の石田さんのゼミの連中も一緒に行く。ストレートな真面目な話もあって気持ちがいい。助手の木村さんも後からくる。大高絵理さんからこの灰皿町blog日記について「記録ではなくて、記憶の記録でしょう」といわれた。12時過ぎ散会。わたしはタクシーで木村さんを桜新町まで、石田さんを新代田まで送って帰宅。林檎、薩摩芋、角きんつば半分、牛乳。夕刊を見る。仕事場に下りて、「灰皿町blog日記」を書く。

02:17:54 - shirouyasu - No comments

## 2006-04-13

「藤井貞和の人と作品」の原稿を書き始める。

12日の朝、トイレで読んだ「認知言語学原理」には、尚も生成文法理論の普遍文法に対する批判が、身体的な側面から、またヒトの進化の側面から書かれていた。ストレッチ体操、風呂に入る。雨上がりの庭に出て、[花びらを散らしたバラ](#)を撮ってBlosxomBlogに入れる。mixiを見る。蕎麦を茹でて昨日買ってきたかき揚げで天ぷら蕎麦にして昼食。麻理は祖母のところに行った。ちょっと仮眠。仕事場に下りて、藤井さんの『自由詩学』を読む。野々歩がノコギリを借りに来て、コーヒーを飲んで話をする。帰った後、『自由詩学』を読み続け、7時過ぎに読み終えて、昨日作ったカレーと南瓜の煮付けで夕食。食後、夕刊を見てから30分ぐらい仮眠。仕事場に下りて、日本現代詩人会の原稿「藤井貞和の人と作品」の始めの部分を書いて、藤井さんの詩集『「静かの海」石、その韻き』を探し出して読む。12時頃、居間に行って、林檎、薩摩芋、柏餅、牛乳。テレビのスポーツニュースを見る。「楽天」が勝った。また仕事場に戻って、「灰皿町blog日記」を書く。

00:57:58 - shirouyasu - No comments

## 2006-04-12

午前中に南瓜を煮て、午後カレーを作る。

11日の朝、トイレで読んだ「認知言語学原理」には、生成文法理論の生得的な普遍文法と言語習得装置に対しての批判が書かれていた。ストレッチ体操、シャワー。その間に南瓜を煮る。雨が降ってこないうちに、自転車でパルクに行って、林檎と薩摩芋と、カレーの食材の肉と人参と茄子と、クレソンを入れてみようと思う。かき揚げとエビ天も買う。帰りに細かい雨が降ってきて急いで帰る。帰って、[散り始めた山吹の花びら](#)をBlosxomBlogに入れる。昨年の4月のBlosxomBlogを見るともうタンポポが咲き、今ごろは牡丹の蕾が大きくなっている。この春はずいぶん気温が低いということ。mixiを見る。蕎麦を茹でて、天ぷら蕎麦にして昼食。仮眠。それからカレーを作る。ご飯も炊く。薩摩芋でお茶を飲んで、夕刊を読む。坪田君に送る『眺め斜め』のDVDの封筒を雨の中傘指してポストに投函。仕事場に下りて、藤井さんの『自由詩学』を読む。7時頃、ひとりでカレーと南瓜の煮付けで夕食。麻理は今日から日本語学校の東日文が始まって、帰りは遅い。夕食後仮眠。イルカと空中を飛ぶ外人の手品師の番組を見てしまう。仕事場に行って、『自由詩学』を読む。12時頃居間に行って、麻理の捜し物を手伝って探し、林檎、柏餅、薩摩芋、煎餅、牛乳。また、仕事場に戻って「灰皿町blog日記」を書く。

01:02:30 - shirouyasu - No comments

## 2006-04-11

ひとり芝居コンテスト「FOREST-ONE」を見る。

10日の朝、トイレで読んだ「認知言語学原理」には、認知言語学はスキーマを抽出して、プロトタイプのカテゴリーの拡張という動的ネットワークの考え方で、言語習得の過程を考える展望を持っていると書いてあった。庭にあった君子蘭の株が鉢一杯になっているのがあったので、その株を4つの鉢に、二株、三株と分けて植え替える。それから、[水仙の花が散った後の姿](#)を撮って仕事場に下りてBlosxomBlogに入れる。麻理と蕎麦で昼食。食後、仮眠。仕事場に行って、藤井貞和さんの詩集『日本語の詩はどこにあるか』を読む。麻理に誘われて、一緒に5時半頃家を出て地下鉄で三軒茶屋へ。ラーメンを食べて、「スタジオ・シアター スパーク1」へ行き、[「アトリエ・フォレスト」](#)企画制作の「第5回ひとり芝居コンテスト『FOREST-ONE』」を見る。5人の出演者による7つの芝居があった。麻理の知り合いのSOMAさんの芝居は、出会い系で知り合った若い男に振られる主婦というものだった。コンテストは50人ほどの観客の投票で決まり、アドネットという男優が演じた『笑の高校』という芝居が「最優秀俳優賞」と「最優秀作品賞」を獲得した。三者面談する高校の英語の先生が、お笑いタレントを志望する生徒に東大受

験を進めながら、お笑いタレントというしっかりした志望を持っていることを自分もお笑いを演じ見せながら褒めるといふ、本音と建て前を往き来する芝居だった。確かに上手かった。「小指値」とは違うこういう芝居をやっている人たちと、それを見に来る人たちがいるということに、わたしも麻理に誘われてその観客のひとりになっていることに感じるところがあった。また地下鉄で帰る。表参道のエレベータの中で詩人の園田恵子さんに会う。[彼女がHPを開いた](#)という話。帰宅してアイスクリームを食べる。夕刊を見て仕事場に行き、園田さんのHPを見てから、藤井さんの『自由詩学』を読み始める。11時過ぎて居間に行つて、林檎、柏餅、煎餅、牛乳。それからまた仕事場に戻つて「灰皿町blog日記」を書く。

00:31:35 - shirouyasu - No comments

## 2006-04-10

坪田義史作品『夜明け』のライブサウンド上映を見る。

9日の朝、トイレで読んだ「認知言語学原理」には、生成文法理論が言語を自律した規則体系とするのに対して認知言語学は身体性に基ついた認知能力と運用能力に即して、実例に見られるスキーマによって規則を考へるといふことが詳しく書かれていた。花束の花がとうとう枯れたのでドライフラワーにするものを干して、残りは捨てた。退職行事の痕跡が無くなった。新学期といふと学事日程を頭に置いて予定を立てるが、それが来週の木曜日コマといふのが寂しい感じだ。[庭に咲いたオニタビラコの花](#)をBlosxomBlogに入れる。仕事場の机の周辺を片づける。1時頃蕎麦で昼食。食後仮眠。それから「たまびNEWS」41号に載せる「定年退職コメント」300字以内の原稿を書いて、多摩美の広報にメールで送る。4時になつて出掛ける。地下鉄で渋谷に出てビックカメラで麻理のDVカメラのワイドコンバーターを買おうとしたが無かつた。そこで、多摩美新3年生の鱈部麻里絵さんにばつたり会つて、イメージフォーラムに坪田義史君の『夜明け』を見に行かないかと誘ひ、一緒に行く。先輩の坪田君に鱈部さんを紹介。5時から、出演者でありサウンド担当の森田さんのライブ演奏付きの『夜明け』の上映。今回は『夜明け』といふ作品がサウンドを主軸にした作品として見る事ができた。サウンドを主軸に見ると、身体＝ノイズへと展開する筋がくつきりと通つていふように見えた。終わつて、渋谷のりこさん、久し振りにあつた卒業生で映像作家の内村一義君、坪田君の友人の福田さんと、森田さんの友人たちと、宮益坂の「頑固ジュニア」に行つて食べたり飲んだりしているいろいろと話しをした。後から、出演している青柳龍太君も来た。うち解きたい集まりだつた。12時過ぎに散会。わたしはタクシーで帰宅。林檎、バナナ、甘納豆、牛乳。仕事場に下りて、メールの返事を書いて、「灰皿町blog日記」を書く。

02:31:56 - shirouyasu - No comments

## 2006-04-09

イメージフォーラム付属映像研究所の開講式に出る。

8日の朝、トイレで読んだ「認知言語学原理」には、認知言語学が生成文法論の遺産を引き継いでいることが書かれていた。9時半過ぎに家を出て、坂の下でタクシーを拾つてイメージフォーラム付属映像研究所へ。運転手さんがわたしと同じ昭和10年生まれだつた。50年運転手一筋だといふていた。戦後の木炭車から運転を始めたといふていた。10時からイメージフォーラム付属映像研究所開講式が始まる。かわなかさん、奥山さん、わたし、中島さん、村山さん、金井さん、西嶋さん、池田さんと3分の挨拶といふところを、皆時間オーバーして話す。それから新入生たちが自己紹介と身に着けているものについて短いフィクションを話す。それが終わつて、講師たちは近所のフランス料理店で昼食。村山さんとわたしは先にIFに戻つて、ジガ・ヴェルトフの『カメラを持った男』を生徒と一緒に見て、村山さんが講義し、最後にわたしも加つて「第一作品」の出題をする。5時から、シネマ

テークの坪田義史個展で、坪田君と言葉を交わし、『でかいメガネ』を見る。昨日会った多摩美卒業生の井上さん、小林さん、福村さん、それに佐藤君、柿内君も来ている。7時から、宮益坂の「ウエスト」で新入生のコンパに参加。9時半頃まで話す。IFの講師の萩原朔美さんが萩原朔太郎の孫だと言ったら、その朔太郎を知らなかった。谷川俊太郎も知らない。つげ義春は知っていたが、赤瀬川原平は知らなかった。タクシーで帰宅。林檎、アンパン半分、牛乳。仕事場に下りて、メールを見て、mixiを見る。そして、BlosxomBlogに[芍薬の蕾](#)を入れる。それから「灰皿町blog日記」を書く。

00:17:14 - shirouyasu - 3 comments

## 2006-04-08

この3月に映像演劇学科を卒業した連中と気の置けない食事をする。

7日の朝、トイレで読んだ「認知言語学原理」には、認知言語学が言語活動をスキーマによって捉えて行くものであることによって、規則に拘る言語学より開かれていること、またカテゴリー化も中心概念から周辺へと緩やかであるなど、現実の言語活動に即しているということが書かれていた。ストレッチ体操、風呂に入る。[庭の小さな花](#)を撮って、仕事場に下りて日録をノートしてから、BlosxomBlogに入れる。自家製のスモークハムを送ってくれた京都の石黒清真理夫妻に礼状を書く。蕎麦で昼食。食後、仮眠。その後、DVのテープからパソコンに取り込み。6時半過ぎに出掛けて、表参道のA2出口で松岡由利子さんと待ち合わせて、そこに井上弥那子さんも来て、青山通りのお粥が美味しいという「糖朝」へ行き、そこで席を取って待っていた福村桃子さんと合流して、お粥を中心にいろいろと食べながら歓談する。遅れて、小林由美子さんも来た。それから、表参道付近を歩いて、「anniversaire cafe」でコーヒーなど飲んで、それぞれの男女の相性などということを話題に話した。11時廻って、表参道駅で別れて、わたしは千代田線で帰宅。林檎、薩摩芋、甘納豆、牛乳。夕刊を読む。それから、仕事場に下りて、「灰皿町blog日記」を書く。

01:07:51 - shirouyasu - 2 comments

## 2006-04-07

『極私的な多摩王の感傷』の構成を考え直す。

6日の朝、トイレで読んだ「認知言語学原理」は、認知言語学の展望を述べる最終章に入った。まず、認知言語学のパラダイムについて、人間の認知能力と言葉の運用能力に即して考える言語学であることが書かれていた。[庭に咲いていたスミレの花](#)を撮って、BlosxomBlogに入れる。昨日、文旦と小さな夏みかんを送ってくれた山藤徳子さんにお礼の電話する。四国から岡山に移動中の電車の中にいる彼女に通じる。演劇公演で移動中とのこと。昼は煮込みうどん。高校時代の友人の桜井栄治君から手紙が来たので、返事を書いて、「映像演劇」と一緒に送る。それを宅急便に出だし、銀行に行き、退職した後も1年延長できる共済の健康保険料を振り込み、郵便局に行き、映像学会の会費を振り込み、記念切手を買う。写真屋で先日代々木公園で桜を撮ったモノクロの現像とプリントを受け取る。フィルムの後半の巻き上げが、やはり、おかしくなって重なっているものもある。でも大半は写っていたので安心。仕事場に下りて、『極私的な多摩王の感傷』の粗編の各シーンのタイムを取り、ノート。4時過ぎに、散歩に出る。トンネルを抜けて行って、東北沢駅の向こうの茶沢通りから池の上に抜けて、都立国際高校の前を通過して駒場野公園の踏切を渡って、近代文学館のところを通過して帰宅。45分ぐらい。帰って部屋の中でストレッチ体操をしてシャワーを浴びた。新島さんがくれたマッサージ液を脚に塗る。夕刊を読んで、7時過ぎに麻理が買ってきた刺身と煮物で夕食。食後寝室のベッドに横になって巨人ヤクルト戦の中継を見ながら仮眠。目が覚めたらヤクルトが負けていて、台所で山藤さんが送ってくれた文旦を食べて仕事場へ。mixiで北

川さんから「小指値」の公演が「Gallery LEDECO」に変わったというメッセージを貰う。構成を考え直して、不足のシーンをテープから取り込む。1時過ぎに林檎、薩摩芋、草餅、牛乳。また仕事場に下りて、「灰皿町blog日記」を書く。

01:50:15 - shirouyasu - No comments

## 2006-04-06

SpaceNeoでの第2回目の上映会は6月17日～18日に決まる。

5日の朝、トイレで読んだ「認知言語学原理」には、言語を独立した規則的な体系と見なす生成文法など言語学に対して、人間の認知能力に即して考える認知言語学のあり方が書かれていた。ストレッチ体操、シャワー。[盛りを過ぎた百合の花](#)を撮って、仕事場に降りて、BlosxomBlogに入れてから、日録ノート。昨日会った柳下さんと石田さんにメール。1時半頃蕎麦で昼食。2時廻って家を出て、千代田線で新御茶ノ水で降りて「SpaceNeo」へ。佐々木さんたちと上映会の日取りを決めて、上映作品のプログラムを決め、持って行ったビデオを映してみたが、画質がよくないので、上映の仕方をフィルムでの上映にしようと決める。上映会は6月17日（土）～18日（日）に決まる。いろいろと話しているうちに福岡典子さんのドキュメンタリー作品『Rogo』を見ることになった。91歳の祖父の一人暮らしの生活を撮ったもので、丁寧に撮ってあった。とにかく、わたしの作品の上映が決まったのが嬉しい。6時近く「SpaceNeo」を出て、都営地下鉄で新宿に出て小田急地下でパンと桜餅とヒレカツを買って小田急で帰宅。山藤徳子さんから文旦と小さな夏みかんが送られて来ていた。麻理が帰っていないけど、お腹が空いたので、馬鈴薯とワカメのみそ汁を作って、ヒレカツで先に夕食。夕刊を読んでいると麻理も帰ってきて夕食。「小指値」の大導寺さんから電話があり、パパタラの「サイスタジオ」が近所の苦情で使えなくなったので、何処か出来るような場所を知らないかということ。ひかり座はどうかと返事して、麻理に電話を替わって、彼女がインプロで使ったことのある中野小劇場とか下北のお風呂屋さんの2階の劇場とかを教えたが、「小指値」の公演が危うくなっていて、心配。仕事場に下りて、パーティで貰った山本亜矢子さんの短編小説集『亀の恩返し』の「春の予感」を読んで読み終える。そして、mixiのメッセージで読後感想を送る。居間に行つて、林檎、桜餅、菓子パン、牛乳。また仕事場に降りて、「灰皿町blog日記」を書く。

00:35:05 - shirouyasu - No comments

## 2006-04-05

映像演劇学科非常勤講師打ち合わせ懇親会に出る。

4日の朝、トイレで読んだ「認知言語学原理」には、要するに動詞を「力、移動、場所」というエネルギー移動のスキーマで、事態認知に即して捉えるということが書かれていた。ストレッチ体操、シャワー。[蘭の花](#)を撮って、仕事場に下りて、3日分の日録をノートして、欄の花をBlosxomBlogにい入れる。清水邦夫さんから速達で『署名人』の1976年発行の未来社版の本が送られてくる。感激。麻理と豆腐入り煮込み蕎麦で昼食。食後眠くなって仮眠。2時過ぎに起きて、『署名人』を読む。三分の一読んだところで、4時半になって家を出て多摩美へ。地下鉄で二子玉乗り換えで上野毛下車。多摩美の総務に行つて、健康保険のことで相談する。それから造形表現学部の事務に行つて、身分証を一旦返却して、記念に貰う。研究室に行つてほしのさんと話す。清水邦夫さんが来たので『署名人』のお礼を言い、あの題材は何処で調べたのか聞くと、父上の書棚にあった本で調べたとのことだった。教務主任の加納さんに研究室の鍵を返却。6時から会議室で新学期の打合会議。専任と非常勤の紹介があつて、わたしは客員教授として紹介される。カリキュラムなどの説明。7時過ぎに終わって、わたしは村山さん柳下さん福島さんとタクシーで移動して、二子玉の高島屋南館の「中国料理愛莉」で懇親会。わたしは村山匡一郎さん、柳下毅一郎さん、清水雄史さんなどと話した。その後、石田尚志さ

ん、清水雄史さん、木村和代さんともう一軒飲みに行って、12時前に散会。タクシーで木村さんを新町まで、石田さんを代田まで送って帰宅。石田さんからカナダの土産として貰った「IceWine」を麻理と開けてちょっと飲んだ。凄く甘い。焼酎で薄めて飲むと美味しかった。林檎、薩摩芋。牛乳。仕事場に下りてメールしたり、mixiを見たりして、「灰皿町blog日記」を書く。

02:13:03 - shirouyasu - 2 comments

## 2006-04-04

『極私的な多摩王の感傷』の編集に取りかかる。

3日の朝、トイレで読んで「認知言語学原理」には、要するに自動詞の下位カテゴリのことが書かれてるのだが、よく解らない。「stay」「run」「sneeze」などの、内在的エネルギーの移動、結果などのことなんだけど、よく解らない。[満開の山吹の花](#)をBlosxomBlogに入れる。『極私的な多摩王の感傷』のFinal Cutの編集ファイルを開いてこれまでに編集してあったものを、ノートを取りながら再生して見る。途中、麻理と豆腐入りの煮込み蕎麦で昼食。仮眠。仕事場に降りて、再生の続き。一応見終える。4時頃、風呂に火をつけて、今日は駒場野公園に向かって散歩に出る。強い風に押されるように歩く。途中、穂田君に送る「極私的に遂に古稀」のDVDをポストに投函。駒場野公園を抜けて代沢の住宅街を歩いて、池の上小学校の前から池の上駅の踏切を越えて三角橋に出て、家に戻る。丁度沸いていた風呂に入る。風呂から出て夕刊。暫くして、鯛の干物とグラタンという変な取り合わせで夕食。仕事場に下りてwebを見てから、居間のテレビでキム・ジョン・イルの権力の世襲を扱ったNHKスペシャルを見る。東ドイツの秘密文書1500ページによるドキュメントだという。見ながら、林檎、薩摩芋、牛乳。竹の子とふきを煮てみる。美味しい。仕事場に下りて、「灰皿町blog日記」を書く。

00:06:49 - shirouyasu - No comments

## 2006-04-03

mon第1回公演『Yellow Elevator』を見る。

2日の朝、トイレで読んで「認知言語学原理」に書いてあったことは、カテゴリ化して拡張するというようなことだが、よく頭に入らなかった。昨夜書かなかった「灰皿町blog日記」を書く。そして、12時頃家を出て、小田急で新宿に出て、大江戸線で「牛込神楽坂」で下車、「theatre IWATO」へ行く。地下鉄の出口からちょっと迷う。1時からmon第1回公演『Yellow Elevator』を見る。はっきりとした自分を持ってない曖昧な男が母親が化身したエレベーターガールによって動かされる黄色いエレベーターで自分探しをするという話。小指値の中林舞がこの一回だけ友達役としてゲスト出演している。こちらは小指値とは対称的にことばに重きが置かれている演劇だった。終わって、演出の大久保亜美さんや美術の山本ゆいさんと言葉を交わして帰り掛けると、劇団「小指侍」の成島秀和さんから「小指値」の名付け親の鈴木さんですかと声を掛けられて、話ながら一緒に、青柳君が2月に個展をしていた「AYUMI GALLERY」に行ってみて、近くのコーヒー店で「小指値」の在学中の作品やわたしの演劇観について話す。成島さんは、会津大でコンピュータプログラミングを修めた人だった。成島さんと別れてまた大江戸線で新宿に出て、小田急の地下で南瓜や竹の子、それにハンバーグの惣菜を買って雨の中タクシーで帰宅。お茶を飲んで朝読んでなかった新聞の記事を読み、仕事場に下りて、[枯れた花束のチューリップの花](#)をBlosxomBlogにい入れる。7時過ぎて、買って来たハンバーグと五目おこわで夕食。寝室のベッドに横になって、NHKテレビの「功名が辻」と北朝鮮の金日成のことを扱った番組を見る。台所で林檎のビニール袋を鋏で切ろうとして指を切った。林檎、饅頭、薩摩芋、牛乳。仕事場に下りて穂田君に送るために『極私的に遂に古稀』をDVDにダビングする。一度失敗してやり直す。それから「灰皿町blog日記」を書く。

01:28:25 - shirouyasu - No comments

**2006-04-02**

小指値第4回公演『ツェラーシュバルツカッツ』を見る。

4月1日の朝は、8時過ぎに起床して直ぐに代々木公園まで麻理と散歩に行った。魚眼レンズのカメラを持って行って代々木公園の桜を撮ったが、フィルムの巻き上げがおかしかった。左の太腿が痛くなって、帰って、貼り薬を貼った。朝食、朝刊、そしてトイレで読んだ「認知言語学原理」には、自動詞と他動詞を内在的エネルギーが働くカテゴリーと外在的エネルギーが働くカテゴリーというように考えるということが書いてあった。多摩美から「定年により退職とする」と書かれてた「辞令」と、「多摩美術大学 客員教授（造形表現学部）を委嘱します」と書かれた「委嘱状」が送られて来た。辞令と委嘱状では文体が違う。委嘱状には丁寧語が使われていて、外部の人になったということなんですね。鈴木一民さんにわたしの文章「個人映画の表現」が掲載されている『多摩美術大学研究紀要』を宅急便で送って、フィルムの現像プリントを写真屋に出す。文房具店で色紙と筆を買おうとしたら財布を忘れていた。家に戻って仮眠。夕刊を見る。6時半過ぎに家を出て、新宿経由で中野へ。ふれあいロードの繁華亭でラーメンを食べて、小指値公演のサイスタジオに行く。ちょっと早すぎて、その先のホテルの食堂「花葡萄」でコーヒーを飲んでサイスタジオに行き、第4回公演『ツェラーシュバルツカッツ』を見る。身体で勝負のぎりぎりのところに迫って行っている、という印象。終わって、ふれあいロードのゲルなんとかという店で、小指値の人たちがわたしの定年退職を祝ってくれた。「ツェラーシュバルツカッツ」という猫の絵のワインの贈り物。1時間までいろいろと話して、タクシーで天野君を初台まで、北川さんを池の上まで送って帰宅。林檎、薩摩芋、饅頭、牛乳。くたびれて、「灰皿町blog日記」を書かずに寝た。

11:21:38 - shirouyasu - No comments

**2006-04-01**

映像演劇学科「退職助手慰労会」に出る。

31日の朝、トイレで読んだ「認知言語学原理」には、動詞の認識パターンとして、エネルギーが主体から手段を経て対象に至るというエネルギーの移動と説明されていた。[山吹の花](#)を撮ってBlosxomBlogにい入れる。それから、11時45分頃、映像演劇学科のお別れパーティで貰った新しいスニーカーを履いて、麻理と代々木公園に散歩に出掛ける。30分ほどで代々木公園について[満開の桜の木の下](#)を歩いて、代々木八幡の駅近くに出て、「変竹林」という食べ物屋でカレーライス「海の子カレー」を食べて昼食にする。それからまた歩いて、代々木上原駅近くの「有村堂薬局」でコンドロイチンとブルーベリーのサプリメントを買って帰宅。汗をかいたのでシャワーを浴びてシャツを換える。ちょっと休んでから、多摩美の研究室から持ち帰った本やその他のものを本棚に入れたりする。6時過ぎに家を出て地下鉄で二子玉川の高島屋南館9階の「カフェジュヴォープロヴァンス」に行き、映像演劇学科を辞める助手の大平勝弘君と三竹あゆみさんの「慰労会」に出席する。教員助手副手のことば、二人の返礼のことばなどがあって、9時過ぎ散会。散会前に非常勤講師の大久保賢一さんが来て、一緒に若手の教員と助手副手とで2次会となる。わたしはその2次会で新しい副手の山崎さんと隣の席になり、出身地などを聞くなどいろいろと話した。12時前に散会。木村さんを桜新町まで、加納さんと大久保さんを三茶まで送って、タクシーで帰宅。加納さんと木村さんがしきりに「年度末の大晦日」と言っていたが、その大晦日を過ぎて、わたしの教授職も終わったわけだ。帰宅して林檎、薩摩芋、牛乳。仕事場に降りて、「灰皿町blog日記」を書き、BlosxomBlogに[代々木公園の桜](#)を入れる。

02:04:25 - shirouyasu - No comments